

令和6年度 気候情報の応用技術に関する検討会 議事概要

1. 開催趣旨

近年、国内外における気候変動対策の取組が広がっており、交通政策審議会第38回気象分科会においては、今後気象庁が強化すべき次世代気象業務の柱のひとつとして“気候変動対応への一層の貢献”が挙げられた。気候変動によって起こりうる変化へ対応する気候変動適応策を講じるためには、その検討や実施判断に資する気候変動予測データを利用者にとって使いやすい内容や形式で提供することが必要である。そのため、気候変動予測データを提供する気象庁は、データ利用者による具体的な活用事例や改善要望の把握を目的として、気候変動の影響を受けやすい農業分野の果樹に関わる専門家を招き、本検討会を開催した。また、既に起こりつつある気候変動の影響に対応するための季節予報等の活用可能性についても検討を行った。

2. 開催日時及び場所

日時：令和7年2月5日（水）13:30～16:30

場所：気象庁7階会議室1及びオンライン会議

3. 出席者

別紙のとおり

4. テーマ及び議事

テーマ：農業分野における季節から気候変動予測の利活用の検討

議事：・果樹における気候変動影響評価のための気候変動予測の活用

・果樹における気候変動適応策としての季節予報の活用

5. 出席者からの主な意見

○果樹における気候変動影響評価のための気候変動予測データの活用

（気候変動予測データの内容について）

- ・気候変動適応策の検討のためには、十年、数十年程度先の時間スケールの予測が必要となるケースが多いため、気象庁が検討しているように、数年・十年・数十年先から今世紀末までをつなぐ気候変動予測データが提供されることは望ましい。
- ・気候変動の将来予測データの空間解像度は市町村程度のスケールに対応で

きるものがあるとよい。一方で、都道府県単位で 0°C 上がるといった概括的な情報もあるとよい。

- ・気候変動予測データを用いた将来における影響評価を実施するためには、例えば農業分野の場合は作物のデータと気象の過去の実況データを用いて影響評価を行うための関係式を求めることが必要となる。将来の評価はその関係式を用いて実施されることから、過去の実況データと気候変動予測データの気象要素や解像度などが同じ形式で提供されることが望ましい。

(データの活用について)

- ・さまざまな気候変動予測データからどのデータを選ぶのがよいかわかるよう、不確実性も含めたデータの性質のわかりやすい解説があることが望ましい。将来予測データを用いて求めた結果をどのように取り扱うかについても、気象の知見を持つ人のサポートが必要。そのためにはデータの提供者、利用者間でコミュニケーションを取り続けることが重要と考えられる。
- ・膨大なデータから必要な地域・要素の切り出しが利用しやすい形でできるなど、気候変動予測データが気象の専門家でない利用者にとっても使いやすい形で提供されることが望ましい。様々な分野で使われている既存のツールの中に、気候変動予測のデータを組み込むことが出来れば活用が進む可能性がある。

○果樹における気候変動適応策としての季節予報の活用

- ・近年発生している極端な気象・気候の影響への対応のため、果樹分野では、季節予報（主に2週間先や1か月程度先の気温の予測）を用いて被害を軽減する短期的な気候変動適応策といえる取組の活用事例が増えてきている。このような有効事例を気候変動と関わりのある様々な地域、産業分野の関係者へ周知することがさらなる活用促進に有効である。
- ・気候変動の進展により、局地的な大雨や2023年、2024年の顕著な高温のような極端な気象現象が今後も起こりうると考えられることから、防災情報、季節予報、気候変動予測を単独ではなく、組み合わせる普及・活用推進を行うことが重要であると考えられる。

以上

(別紙)

令和6年度 気候情報の応用技術に関する検討会 出席者名簿

機関名	所属等	氏名※敬称略
岩手県	岩手県農業研究センター 園芸技術研究部 果樹研究室 室長	小野 浩司
福島県	農林水産部 農業振興課 主査	安達 義輝
千葉県	千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 研究員	金子 夏樹
富山県	富山県環境科学センター 大気課 主任研究員	水田 圭一
	富山県農林水産総合技術センター 園芸研究所 果樹研究センター 主任研究員	杉山 洋行
長野県	長野県環境保全研究所 自然環境部 温暖化対策班 主任研究員	浜田 崇
農業・食品産業 技術総合研究機構	農業環境研究部門 気候変動適応策研究領域 気象・作物モデルグループ グループ長	丸山 篤志
	果樹作業研究部門 果樹生産研究領域 果樹スマート生産グループ 上級研究員	杉浦 裕義
	果樹作業研究部門 果樹生産研究領域 果樹スマート生産グループ 主任研究員	紺野 祥平
	果樹作業研究部門 果樹生産研究領域 果樹スマート生産グループ 主任研究員	杉浦 俊彦
国立環境研究所 気候変動適応センター	気候変動影響評価研究室 主任研究員	石崎 紀子
気象庁	大気海洋部長	太原 芳彦
	大気海洋部 業務課 第三計画係長	町田 祐里
	大気海洋部 気象リスク対策課 気候変動対策推進室 室長	経田 正幸
	大気海洋部 気象リスク対策課 気候変動対策推進室 課長補佐	松田 康平
	大気海洋部 気候情報課 課長	吉松 和義
	大気海洋部 気候情報課 異常気象情報センター 所長	田中昌太郎
	大気海洋部 気候情報課 予報班長	平井 雅之
	大気海洋部 気候情報課 予報官	野津原昭二
	大気海洋部 気候情報課 予報官	前田 修平
	大気海洋部 気候情報課 異常気象情報センター 気候リスク管理技術係長	加藤 成子
	情報基盤部 情報利用推進課 気象ビジネス支援企画室 調査官	渡邊 明華
	気象研究所 全球大気海洋研究部 主任研究官	高谷 祐平
	気象研究所 応用気象研究部 室長	仲江川敏之